



# 衣笠地運協 かわらばん

平成 30年 1月 26日  
第 9号

発行 衣笠地域運営協議会  
事務局 衣笠行政センター  
☎ 046-853-1611

活動  
報告

## 衣笠十字路地下道環境美化事業

### ♥ 衣笠十字路地下道に「掲示板」を設置します ♥

地下道の環境問題として懸念されていた公衆電話ボックスが撤去され、ごみの問題が解決しました。しかし、撤去後のスペースに新たなごみ問題が生じてしまいます。

そこで、当協議会で「掲示板」を設置することにしました。地域の皆さまの作品やお知らせなどを掲示し、きれいで親しみのある地下道を目指します。2月末までに完成するよう準備をしています。

### ♥ 『ダイヤモンド道』への道 ♥

衣笠小学校6年1組が、衣笠十字路地下道を「ダイヤモンド道」とするための対策を考えました。

自分たちが考えたキャラクター「道(みちる)君」「地下(ちか)ちゃん」を使って、色分けした矢印や写真でわかりやすくした行先表示板を作るなど、地下道の模型を使って、利用者にやさしい地下道を提案してくれました。地域で実施している清掃活動にも参加したいとのこと。

11月30日の当協議会に、クラス全員が参加して発表をしてくれました。委員からの意見や提案による修正を加え、12月19日には地下道の管理者である神奈川県横須賀土木事務所へも出向いて発表をしてきました。今回作った作品の展示や環境改善の提案などが実現するよう、当協議会が協力して県と協議していきます。



衣笠行政センターでの発表の様子



横須賀土木事務所での発表の様子



昨年9月、衣笠十字路地下道の壁面を飾っていただいていた春光学園の作品が剥がされてしまいました。現在は展示作品を取り外しています。

平成28年1月より開始した壁面装飾



展示していた作品

事業で、三浦学苑高等学校、衣笠小学校の作品とともに展示していたものです。

このようなことが二度と起こらないよう、警察に被害届を出し、見守りの強化もお願いしました。当協議会としても、地下道の防犯面での対策強化を、神奈川県横須賀土木事務所へ引き続き要望してまいります。

また、春光学園の子どもたちの作品で地下道を明るくしてもらえるよう、作品の作成、提供をお願いしています。



**活動報告**

## 商店街活性化事業

♡「ONE PEACE」商店街に訪れる人を笑顔に♡

衣笠の元気は、衣笠商店街から！、衣笠小学校6年2組が作成したピースアートで、空き店舗を華やかに飾ります。「ONE PEACE」には「パズル」のピースと「手」のピースの二つの意味があるとのこと。商店街のキャラクターなどを描いたピースアートはたくさんの手の写真を貼って完成します。

インスタ映えするスポットを作って若い人にもっと来てもらいたいと、ハートとクローバーをモチーフにした作品もあります。商店街の魅力も盛り込んだピースアートがお披露目されるのは、1月下旬から2月上旬。完成後にはクラス全員で当協議会に発表に来てくれる予定です。



**活動報告**

## 衣笠山公園サクラ樹勢回復事業

♡タブノキ再生プロジェクト♡

衣笠山公園のサクラを元気にするため、公園管理者と協議しながら土壌改良や日照を遮る樹木の伐採などの提案をしています。

昨年2月に、当時の衣笠小学校6年生が衣笠商店街で行った「TKMストア」で、伐採した「タブノキ」をベンチとして再利用しました。

削ったところが翌日には乾燥してひび割れてしまい、修復する。そんな作業を何度も繰り返しました。昼休みや放課後の空き時間にも作業をしていたそうです。丁寧にヤスリのかけられた木肌は驚くほどツルツルになっていました。そんな苦労を「勉強になった」と言ってくれました。

1月12日、当協議会の会長が高校に出向き、完成したイスを受領しました。そして地域の皆さんにもご覧いただけるように衣笠商店街のキッズパークに置いていただきました。



タブノキ切り株



TKMストアのベンチ

このまま切り株を放置してしまうと腐ってしまいます。なんとか活用できないか、と県立横須賀工業高校に相談したところ、機械科の3年生が課題として取り組んでくれることになりました。本来、伐採した木を家具などに加工するには、10年以上乾燥させてから使うとのこと。「生もの」といえる木の加工は大変だったそうです。



作業した生徒さんと完成品



協議会から商店街へ

## 謹賀新年

平成30年



タマ公像（衣笠山公園）

## 本紙のご案内

地域住民が主体的に取り組むための組織として設立された衣笠地域運営協議会（略称：衣笠地運協）の活動内容について地元のみなさまにご紹介するための広報紙です。



衣笠スカリン

衣笠地運協

